



今月のデータ

38%

走行形態別燃料消費率にみる発進時の燃料消費量の割合です。これは、走行時の燃料消費率(35%)より大きいことがわかります。(省エネルギーセンター調べ)



エコドライブを实践しよう!

三 急 運転を控えた走行が地球を救う

近年社会問題となっている地球温暖化防止を図るためには、排気ガスの削減に取り組むことが重要です。そこで、運転時はエコドライブを積極的に実践しましょう。とくに燃料消費量が多い発進・加速・停車時には、以下のような運転方法を心がけましょう。

急発進 ふんわりアクセル『e-スタート』

急発進を控えて

発進時は燃料をかなり消費します。とくに都市部の市街地では、発進と停車を頻繁に繰り返すため、さらに燃費は悪化します。

そこで、停止状態からアクセルペダルに足を移動させるときに、ひと呼吸おいてから徐々

に加速し、交通の流れの速度にいたる直前に少しアクセルを緩める運転を行いましょう。

これだけで、平均の燃費の約1割程度を改善できます。

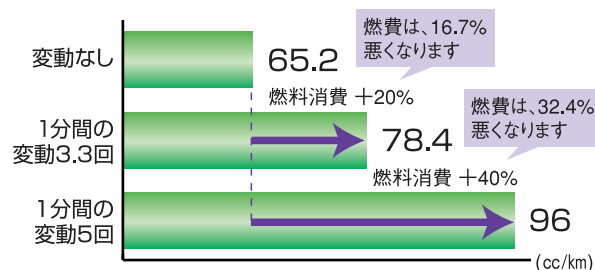
急加速 加減速の少ない運転

急加速を控えて

走行中の速度変動が多い運転を行うと、燃費が悪くなります(右図参照)。そこで、加減速の少ない定速走行を維持しましょう。

ポイントは、余裕のある車間距離を保ち、アクセルを戻す時や踏み込む時に、やさしくゆっくりペダル操作を行うことです。

速度変動が増えるほど、燃料消費量は増加する



※80km/h±5km/hの速度変動をした場合
※2,500ccのミニバンで走行の場合(省エネルギーセンター調べ)

急停止 早めのアクセルオフ

急停止を控えて



停止時には、まず早めにアクセルを戻してエンジンブレーキを利用しましょう。できるだけ惰性に進んだ後にフットブレーキで停止位置を調節する運転を心がければ、それだけガソリン消費を抑制できるので、燃費改善に繋がります。

車両点検や清掃を実施して燃費向上を図ろう

整理整頓

不要な荷物を積まない

100kgの荷物を載せて走行すると、燃費が3%程度悪化するといわれています。ですから、ゴルフセットのような、ふだん使わない重い荷物を積んだまま走行するのは避けましょう。

また、燃料給油時にタンク半分程度にとどめておけば、車両重量の低減と同じ効果があり、燃費効率があがります。



点検

タイヤの空気圧をチェックする



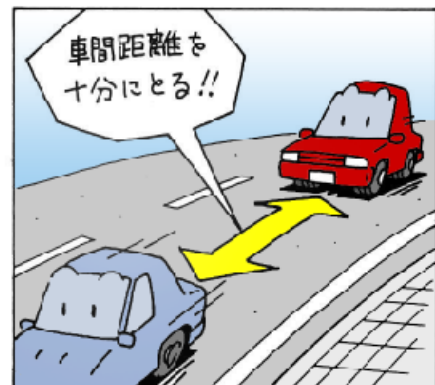
自転車でも、タイヤの空気が減ると重たく感じるように、車もタイヤの転がり抵抗が大きくなる結果、燃費が悪化します。

空気圧のチェックはガソリンスタンドやディーラーなどで簡単に計測してもらえるので、こまめに点検して適正な空気圧に保つことも、エコドライブの秘訣といえます。

エコドライブは交通事故防止に繋がる

車重低減や適正なタイヤ空気圧を保つことは、燃費の改善だけでなく、制動距離を短縮させる効果も期待できます。

また、定速走行を行うために車間距離を広く保ちながら運転することによって、追突事故等の防止にも一役買っていることから、エコ走行は環境・経済面だけでなく、安全面からみても効果的な運転方法といえます。



ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL http://www.hokensystem.co.jp

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課